

令和6年度

山城小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①自分の考えを豊かに表現できる力を育成する。
- ②自ら進んで学習に取り組む態度を育成する。

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長 磯村 淳	教頭 喜多勝美
道徳教育推進教師 大久保智美		低学年推進員 岩崎 毅	中学年推進員 福良知紀
		高学年推進員 川人美保	

校長

磯村 淳

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○指示された課題に誠実に取り組み、やりきることができる。できることを増やそうと努力できる。 ●学習内容の定着に時間がかかり、知識技能の定着が思うように進まない児童がいる。学力差があり、二分化している。	読み書き計算に習熟した子ども	・学期末ごとに漢字計算検定を実施し、基礎学力の定着を図る。 ・家庭学習について、課題の量や出し方を工夫する。 ・定期的に良質な文・文章を視写する。良質な文章に触れながら、文字を書く正確性や速度を高めていく。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○経験や学習を生かして、自分の伝えたいことを表現しようと努力している。 ●文章表現力や書く力が十分育っていなかったり、理由を言えなかったりする。語彙力が不足していて、自分の思いをうまく表現できない。	根拠を明らかにして、自分の考えを表現し、相手に分かりやすく伝えることができる子ども	・授業において、ノートや決められた用紙、ホワイトボードやICTなどを効果的に活用し、根拠を明らかにして自分の考えを書く活動を1日1回以上行う。 ・考え、表現、学習の手引きを活用し指導・支援する。 ・日記指導を充実させ、書く力を向上させる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習課題に興味を持って取り組む児童が多い。分かることを進んで発表しようとする意欲がある。 ●計画や見通しを立てて行動する態度が定着しておらず、自分自身の課題が見つけられない。思考を要する課題に対して実践・実行せずに諦めてしまいがち。	自主学習を調整し、意欲的に取り組む子ども	・学力アップチャレンジ週間(年6回)を設け、家庭との連携を図る。 ・自主学習では、めあてと振り返りを意識させて取り組ませる。 ・見通しや計画が立てやすいように、モデルや目標になるものを提示する。教師のコメントは児童の励みになるようにする。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

